

第3章

健康・福祉

思いやりの心で支え合う

幸せに暮らせるまちをつくります

第1節 地域福祉

互いの顔が見える、
地域でみまもり支え合えるまち

- 3-1-1 地域福祉ネットワークづくりの推進
- 3-1-2 地域福祉活動の充実
- 3-1-3 地域福祉サービスシステムの充実

第2節 子ども支援

子どもたちの成長を社会で支え合いながら、
家庭で安心して生み育てることができるまち

- 3-2-1 子どもの育成支援の充実
- 3-2-2 子育て家庭の支援の充実
- 3-2-3 地域における子育て支援の充実

第3節 高齢者福祉

互いに支え合いながら、
健やかでいつまでも住み慣れた地域で暮らせるまち

- 3-3-1 介護予防体制の充実
- 3-3-2 生きがい支援の充実
- 3-3-3 住み慣れた自宅や地域での生活を支える体制づくり

第4節 障害者福祉

障害のある人が社会参加しながら、
住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち

- 3-4-1 社会参加の促進
- 3-4-2 生活支援の充実
- 3-4-3 雇用・就労の促進

第5節 社会保障

安心して生活でき、
わかりやすい社会保障制度が整っているまち

- 3-5-1 国民健康保険制度の充実
- 3-5-2 高齢者医療制度の充実
- 3-5-3 国民年金制度の推進
- 3-5-4 介護保険制度の充実
- 3-5-5 低所得者世帯への支援

第6節 保健・医療

心身ともに健康と感じ、
必要なときに必要な医療を受けられるまち

- 3-6-1 地域保健対策の推進
- 3-6-2 生涯を通じた健康づくりの推進
- 3-6-3 地域医療・救急医療の充実
- 3-6-4 こころの健康づくりの支援



分野別の主な計画

計画名	計画期間	計画概要
第2次所沢市 地域福祉計画 (福祉総務課)	平成27(2015)年度 ～平成32(2020)年 度の6年	誰もが住みなれた地域で生き生きと暮らすことができるように、地域福祉コミュニティの育成などを基本に、人々がお互いに支え合い助け合う地域社会をめざす取り組みを定めた計画です。
所沢市放課後子ども 健全育成基本方針 (青少年課)	平成23(2011)年度 ～	小学生児童の放課後について、基本方針である「『笑顔あふれる ところっこ』地域みんなではぐくもう」の実現にむけ、地域・学校・保護者・行政が連携し取り組みを進めることなどを定めた計画です。
第2次所沢市 ひとり親家庭等 自立支援計画 (こども支援課)	平成26(2014)年度 ～平成30(2018)年 度の5年	ひとり親家庭等の子どもたちが健やかに成長していける環境を確保するため、安心して子育てができる環境づくりとひとり親家庭及び寡婦*の自立に向けた総合的な支援に取り組む計画です。
所沢市子ども・子育て 支援事業計画 (ところっこすくすくサ ポートプラン) (こども政策課)	平成27(2015)年度 ～平成31(2019)年 度の5年	これまでの事業を継続しながら、地域社会全体で子ども・子育てを支援する新しい支えあいの仕組みを構築し、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保や関連する業務の円滑な実施に関して定めた計画です。
第6期所沢市 高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画 (高齢者支援課)	平成27(2015)年度 ～平成29(2017)年 度の3年	全ての市民が生きがいをもって豊かに高齢期を過ごせるように、高齢者のそれぞれの生活能力に応じた健康や暮らしを支えるための取り組みや介護保険事業の運営について定めた計画です。
第3次所沢市 障害者支援計画 (障害福祉課)	平成27(2015)年度 ～平成29(2017)年 度の3年	共生社会の実現に向け、所沢市の障害者施策の基本的な方針を明らかにし、障害者の地域における支援を総合的、計画的に推進するための取り組みを定めた計画です。
第2次健康日本21所沢 市計画(健康ところ21) (健康づくり支援課)	平成23(2011)年度 ～平成27(2015)年 度の5年	子どもから高齢者まで、すべての市民が健やかで、心豊かな生活が送れるように健康づくりの取り組みを定めた計画です。
所沢市食育推進計画 (所沢市食育プラン) (健康づくり支援課)	平成23(2011)年度 ～平成27(2015)年 度の5年	すべての市民が食を楽しく学び、健やかな心身と豊かな人間性を育むことができるよう、食育の取り組みを定めた計画です。

*寡婦…夫と死別または離別し、再婚していない女性のこと。



計画名	計画期間	計画概要
所沢市 新型インフルエンザ等 対策行動計画 (保健医療課)	平成26(2014)年度 ～	新型インフルエンザ等の感染拡大を抑制し、市民の生命及び健康を保護するとともに、市民生活及び市民経済に及ぼす影響を最小となるようにするための計画です。
第二次所沢市 市民医療センター 改革プラン (市民医療センター 総務課)	平成26(2014)年度 ～平成28(2016)年 度の3年	第一次改革プランの中で、目標達成できなかった項目について、より実情に即した目標値を設定し、公立病院として地域の中で求められる役割を安定的・継続的に果たしていくためのプランです。



介護予防サポーター養成講座



障害者週間記念事業
(市役所1階市民ホール)



トコロん劇場②

『 納涼トコロん 』



トコロんは所沢市のイメージマスコットです！
市制施行60周年記念の年、平成22年に誕生しました。市の鳥である「ひばり」と航空発祥の地・所沢にちなんだプロペラ飛行機のイメージからデザインされています。
イベント参加、グッズや紙面掲載などを通じ、所沢市の広告塔として大活躍、市内外の多くのファンから愛されています。



ひばりちゃんは、所沢市広報マスコットです！
とにかく楽しいことが大好きなひばりちゃん。もっともっと楽しいことはないかな?と市内を散策しています。

トコロん四コマ漫画コンテスト 優秀賞受賞

屋良 萌さん作品



第1節

地域福祉

互いの顔が見える、地域でみまもり支え合えるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 少子高齢化などの進行に加え、東日本大震災を契機として、人と人との絆、地域力[※]、ボランティア[※]の果たす役割の重要性などが再認識されています。
- 「所沢市地域福祉計画[※]」に基づき、誰もが自立して思いやりを持って支え合う「共に生きるまちづくり」に向け、計画の推進を図っています。
- 所沢市社会福祉協議会の取り組みである地域福祉ネットワーク会議を支援しています。
- (仮称)所沢市総合福祉センターの整備に向け、「(仮称)所沢市総合福祉センター(複合施設)基本計画」を策定しました。



やなせ福祉まつり(ほっとふる柳瀬)

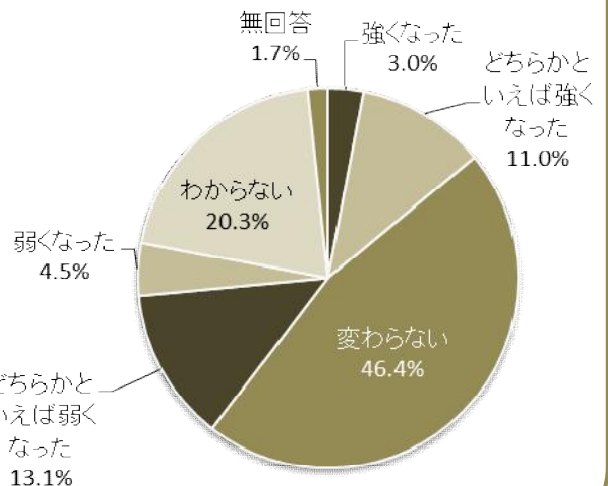
課題

- 関係機関と連携しながら、地域福祉ネットワークづくりを推進することが必要です。
- 公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題への対処や、複合的な問題への柔軟な対応が必要です。
- 地域福祉の拠点として、(仮称)所沢市総合福祉センターの整備を進めることが必要です。



住んでいる地域のつながりが、以前(5年程度前)と比べ、どのように変化したか

(平成25年度市民意識調査)



[※]地域力…住民組織・行政機関等地域に存在する人・組織が一体となって地域が望む方向に近づけていく自主自立的な問題解決能力のこと。

[※]ボランティア…自主的に社会事業などに参加し、無償の奉仕活動をする人。

[※]所沢市地域福祉計画…誰もが住みなれた地域で生き生きと暮らすことができるように、地域福祉コミュニティの育成などを基本に、人々がお互いに支え合い助け合う地域社会をめざす取り組みを定めた計画。



基本方針

◆3-1-1

地域福祉ネットワークづくりの推進

地域における福祉ニーズの拡大と多様化に伴い、支え合いの仕組みを形成していくことが求められているため、地域住民・関係機関との役割を整理し、地域福祉ネットワークづくりを進めます。

◆3-1-2

地域福祉活動の充実

社会福祉協議会や専門的技能をもつボランティア、民生委員*・児童委員**などは、地域に密着した福祉活動を展開し、地域福祉の重要な役割を担っていることから、それぞれの活動が十分に機能を発揮できるよう支援し、地域福祉活動の充実に努めます。

◆3-1-3

地域福祉サービスシステムの充実

(仮称)所沢市総合福祉センターを整備し、地域福祉サービスシステムの充実に努めます。

教えて！
トコロん

地域福祉ネットワークづくりってどんなこと？



地域福祉とは、それぞれの地域で誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者などがお互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。地域には、さまざまな人が共に暮らしています。子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが地域において生き生きと自立した生活が送れるよう、地域で暮らす人々がお互いに交流し、支え合っていくことが大切です。

地域福祉を推進していくために、市民一人ひとりや行政などの取り組みだけでなく、自治会・町内会、民生委員・児童委員、NPO法人、ボランティア団体や社会福祉法人など**地域のさまざまな組織や団体が連携し、協力し合いながら、地域で支援が必要な人を地域で支え合うネットワークづくりを進めていきます。**

※民生委員…厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める者。

※児童委員…児童及び妊産婦の保護・保健などに関する援助・指導を行い、児童福祉司や社会福祉主事の職務に協力する者。児童福祉法に基づくもので、市町村に置かれ、民生委員がこの職を兼務する。



📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
民生委員・児童委員の充足率	%	H25	H27	H28	H29	H30	
		96	100	100	100	100	

説明：地域福祉活動の充実度を示す指標です。
 現状値は、地域ごとに活動している民生委員・児童委員の平成25年度末の充足率です。
 目標値は、毎年度100%をめざすものです。

関連する基本方針 3-1-2

指標名	単位	現状	年度別目標				達成
(仮称)所沢市総合福祉センターの開設	-	H26	H27	H28	H29	H30	
		工事	工事	開設	-	-	

説明：地域福祉サービスシステムの充実度を示す指標です。
 現状は、平成26年度の進捗過程を表しています。
 目標は、(仮称)所沢市総合福祉センターの平成28年度開設をめざすものです。

関連する基本方針 3-1-3

指標名	単位	現状値	年度別目標値				維持
(仮称)所沢市総合福祉センターの利用者満足度	%	-	H27	H28	H29	H30	
		-	-	100	100	100	

説明：(仮称)所沢市総合福祉センターの利用者の満足度を示す指標です。
 センター開設後、利用者に対するアンケートで「(仮称)所沢市総合福祉センターの事業内容等について満足している」と答えた人の割合です。
 目標値は、毎年度100%をめざすものです。
 ※平成28年度開設予定のため、現状値欄・H27欄は空欄



関連する基本方針 3-1-3





(仮称)所沢市こどもと福祉の未来館をつくっています！

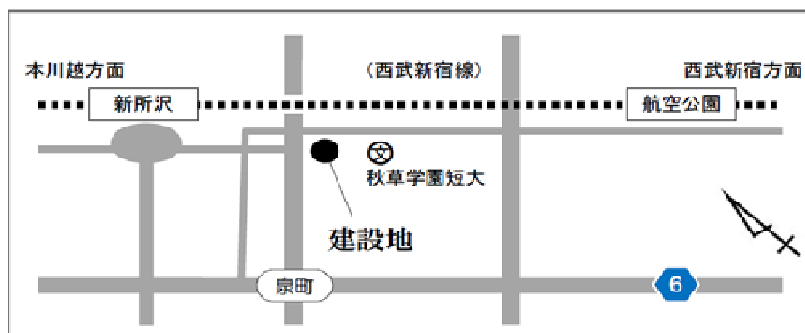
「(仮称)所沢市総合福祉センター」は、名称を「(仮称)所沢市こどもと福祉の未来館」として、現在整備を進めています。

本施設は、福祉の総合相談機能や福祉ボランティア活動支援機能などを持つ「**地域福祉センター**」と、子育て支援機能や子ども発達支援機能を持つ「**子ども支援センター**」で構成されます。また、この施設には「所沢市社会福祉協議会」が入る予定であることから、それぞれが連携、協力しながら、地域福祉の中心的な役割を担う拠点施設をめざします。

このうち、「地域福祉センター」では、市民の誰もが地域で安心して心豊かな自立生活の実現に向けて、福祉のさまざまな相談に総合的に対応する「福祉の総合相談」窓口を設置し、必要に応じて関係機関との調整を行い、相談者の抱える複合的な課題を解決まで支援できる体制を構築します。また、福祉に関するボランティア活動を支援するとともに、世代間交流事業、健康増進事業などを行い、地域の方々を含め、多世代の方にご利用いただき、地域福祉の推進を図ります。



(仮称)所沢市こどもと福祉の未来館イメージ図



建設地：所沢市泉町 1861-1（新所沢駅から約 400m）



第2節

子ども支援

子どもたちの成長を社会で支え合いながら、
家庭で安心して生み育てることができるまち

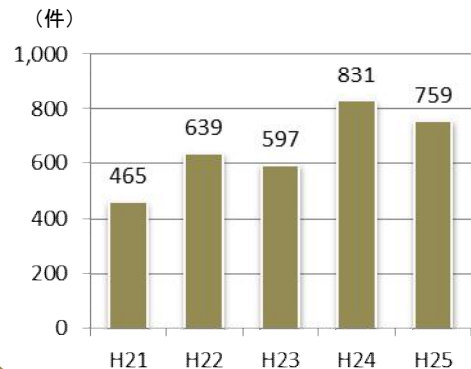
現状・これまでの主な取り組み

- 保育園の受け入れ拡大を図るため、認可保育園の開設及び既存施設の定員拡大を図っています。
- 新所沢まちづくりセンター内に、みどり児童館を設置したことで、生活クラブ*の入室児童数を増やしました。
- 子育て支援機能・発達支援機能を持つ(仮称)所沢市子ども支援センター設置に向け、機能等検討委員会を発足し協議を行いました。
- 平成23年10月から子ども医療費助成制度の対象を中学校3年生まで拡大しました。



児童家庭相談件数の推移

(こども支援課資料)



課題

- 質の高い教育・保育の総合的提供や地域における子ども・子育て支援の充実が必要です。
- (仮称)所沢市子ども支援センターについて、関係部署と連携しながら事業運営の詳細について検討していくことが必要です。
- 子どもの虐待防止のため、関係機関とのさらなる連携が必要です。



(仮称)所沢市 子ども支援センター

(仮称)所沢市子ども支援センターは、現在整備を進めている「(仮称)所沢市こどもと福祉の未来館」内に開設されます。

(仮称)所沢市子ども支援センターの特徴は、**子育て支援**と**発達支援**という2つの部門がそれぞれ専門性を活かした事業を展開し、かつ連携をとりながら、総合的に子育て世帯を支援していくことです。さらに各部門ともセンター内での支援のほか、地域支援として保育園、幼稚園や地域子育て支援センターなど、市内全域における子育て支援体制を向上させていくことも大きな特徴といえます。

*生活クラブ…保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や夏休み等に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を目的として行う事業で、児童館に開所されるもの。



基本方針

◆3-2-1

子どもの育成支援の充実

「ところっこ すくすく サポートプラン」に基づき、子どもたちが健やかに育つために必要な環境づくりや幼児期の学校教育・保育、子どもたちの放課後の居場所づくりなどを総合的かつ計画的に進めます。

また、子どもたちが健やかに成長できるよう、子どもと家族を支援する（仮称）所沢市子ども支援センターを整備、活用します。

◆3-2-2

子育て家庭の支援の充実

関係機関と連携しながら、子育て支援のサービスの充実を進めます。

また、ひとり親家庭や障害のある子どもとその家族等に対して、生活支援や経済的支援、親への就労支援などの充実を図ります。

◆3-2-3

地域における子育て支援の充実

地域子育て支援拠点施設の核となる（仮称）所沢市子ども支援センターを整備するとともに、子育て講演会・サロン等の地域における子育て支援事業の充実を図ります。

また、児童虐待等から子どもを守るため、地域におけるネットワークの強化を進めます。

📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
			H27	H28	H29	H30	
(仮称)所沢市子ども支援センターの利用者満足度	%	-	H27	H28	H29	H30	
		-	-	100	100	100	

説明：（仮称）所沢市子ども支援センターの利用者の満足度を示す指標です。

センター開設後、利用者に対するアンケートで「（仮称）所沢市子ども支援センターの事業内容等について満足している」と答えた人の割合です。

目標値は、毎年度100%をめざすものです。

※平成28年度開設予定のため、現状値欄・H27欄は空欄



関連する基本方針 3-2-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
			H25	H27	H28	H29	
地域子育て支援拠点施設の利用者数	人	H25	H27	H28	H29	H30	
		126,685	180,000	248,000	252,000	256,000	

説明：地域における子育て支援の充実度を示す指標です。

現状値は、平成25年度の子育て支援拠点施設の利用者数です。

目標値は、平成28年度より毎年度4,000人の増加をめざすものです。

※平成27年度に全ての児童館にて支援拠点を整備し、平成28年度に（仮称）所沢市子ども支援センターに地域子育て支援拠点を開設する予定です。

関連する基本方針 3-2-3



第3節

高齢者福祉

互いに支え合いながら、
健やかでいつまでも住み慣れた地域で暮らせるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 「第5期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、高齢者に関する施策を総合的・計画的に推進しています。
- 各地域包括支援センター*の圏域全てに、お達者倶楽部を設置しています。
- 高齢者のみまもり活動として、トコロみまもりネットの拡大を図っています。
- 緊急通報システム**事業について、広報などで周知を図っています。

課題

- 高齢者が自立した生活を継続できるよう、介護予防体制の強化を図ることが必要です。
- 高齢者の状態に応じたサービスを提供するため、介護・福祉・医療の連携体制を構築することが必要です。
- すべての高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるよう支援することが必要です。

お達者倶楽部



ご自宅でお過ごしの方65歳以上に、茶話会・交流会・レクリエーション・健康体操などを行う場を提供しています。参加をしていただくことで健康の維持、閉じこもり予防、介護予防につなげることを目的としています。

お達者倶楽部の運営は、地域のボランティアの方が行っています。所沢市では各倶楽部に助成金を交付し、介護予防と高齢者の居場所づくりを進めています。

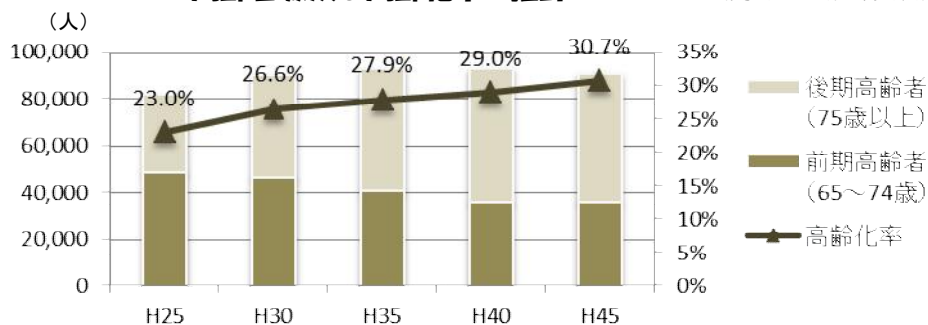


お達者倶楽部



高齢者数及び高齢化率の推計

(高齢者支援課資料)



*地域包括支援センター…高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、包括的に支援する公的機関。市町村または市町村から委託された法人等が運営し、高齢者の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う。
**緊急通報システム…一人で生活している高齢者等の急病など、緊急時の即応体制を整えるために機器を貸与し、緊急時に簡単な操作でオペレーションセンターへ通報できるシステム。



基本方針

◆3-3-1

介護予防体制の充実

高齢者ができる限り自立した生活を送り、介護が必要な状態とならないため、各種の介護予防事業を、地域包括支援センターや関係機関と連携して実施します。

◆3-3-2

生きがい支援の充実

高齢者が生きがいのある充実した生活を送るため、長年培ってきた知識・経験・能力を活かし、多様な社会活動が可能となる環境の整備を図ります。

また、スポーツ・レクリエーション等を通して、高齢者の生きがい活動の推進に努めます。

地域の皆さんの日常生活や協力機関・協力事業所の事業活動の中でさりげないみまもり・声かけによって、高齢者の方の何らかの異変に気づいたときは、高齢者支援課や地域包括支援センターにご連絡いただき、状況の確認と支援につなげていきます。

◆3-3-3

住み慣れた自宅や地域での生活を支える体制づくり

地域でのみまもりにより、高齢者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境を整備します。

また、地域包括支援センターを中心とした地域におけるネットワークの充実に努めます。



トコロみまもり ネット

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるように、地域住民、協力機関、協力事業所で作るネットワークです。

📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
			H25	H27	H28	H29	
老人福祉センター・老人憩の家利用者数	人	H25	H27	H28	H29	H30	➔
		327,716	340,000	343,000	345,000	346,000	

説明：高齢者の生きがい支援の充実度を示す指標です。
現状値は、平成25年度の老人福祉センター・老人憩の家の延利用者数です。
目標値は、平成30年度までに346,000人をめざすものです。

関連する基本方針 3-3-2

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
			H25	H27	H28	H29	
一人暮らし高齢者等緊急通報システムの設置数	台	H25	H27	H28	H29	H30	➔
		1,155	1,355	1,455	1,555	1,655	

説明：一人暮らし高齢者に対する施策の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の高齢者の自宅に設置した緊急通報システムの台数です。
目標値は、毎年度100台の増加をめざすものです。

関連する基本方針 3-3-3



第4節

障害者福祉

障害のある人が社会参加しながら、
住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 障害者に関する施策を総合的・計画的に推進するため、「第2次所沢市障害者支援計画」を策定しました。
- 障害福祉サービスの対象者に難病患者*や発達障害者*が追加されました。
- 精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう「精神障害者地域生活支援施策研究会」を設置し、施策の検討を行いました。
- 障害者週間記念事業等を開催し、障害者への理解啓発を促しています。
- 障害者の社会参加促進のため、障害者団体ふれあい活動支援事業を実施しています。
- 社会福祉法人やNPO法人、グループホーム*・ケアホームの運営法人及び入居者に対し助成を行っています。
- 相談支援事業所*と障害者相談員の連絡会議を開催するなど、相談支援体制の充実を図っています。
- 自立支援協議会*における関係機関の連携強化を図っています。
- 障害者の地域社会での自立を促進するため、就労支援に努めています。

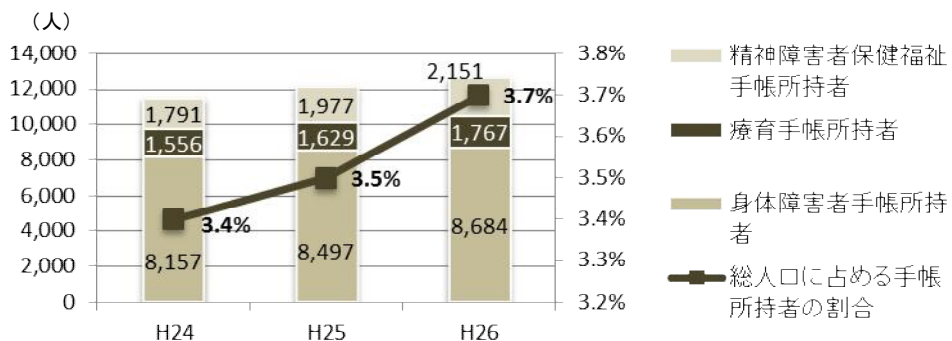
課題

- 障害者の社会参加には、障害者への市民の理解をより深めることが重要です。
- 難病患者や発達障害者への施策の推進が必要です。
- 障害者が地域において自立した生活を営むため、障害の種別に応じた総合的な支援が必要です。
- 障害者の就労の定着支援対策を強化することが必要です。



障害者手帳所持者数の推移

(障害福祉課資料)



*難病患者…原因が不明で、治療方法が未確立であり、経過が慢性にわたる疾病を有している人。指定難病は今後増える予定。
 *発達障害者…自閉症、アスペルガー症候群、注意欠如・多動性障害 (ADHD)、学習障害など、生まれつき脳の一部の機能に障害がある人の総称。同じ人に、いくつかのタイプの発達障害があることも多いのが特徴。
 *グループホーム…障害者が共同生活を営む居住施設。主として夜間において行われる相談、入浴、排泄、食事の介護等の日常生活上の援助を行う。
 *相談支援事業所…障害者が自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、さまざまな相談に応じ、必要な情報提供や助言、障害福祉サービスの利用支援などを行う事業所。
 *自立支援協議会…障害者への支援体制の整備を図るため、福祉、医療、教育、雇用などの関係機関や団体により構成される協議会。



基本方針

◆3-4-1

社会参加の促進

障害者の自己決定が尊重され、かつ地域社会で共生できる社会の実現をめざし、障害者への理解を深めるための啓発・広報活動を行います。

また、障害者の意思疎通のための手段を確保するなど、社会参加への支援を充実します。



障害者週間記念事業
(市役所 1階市民ホール)

◆3-4-2

生活支援の充実

障害者が身近な場所で気軽に相談できる相談支援事業の充実を図るなど、相談窓口の充実に努めます。

また、地域での生活を支援するため、障害の種類に応じた総合的な福祉サービスの充実や、居住の場としてのグループホームの整備に努めます。

◆3-4-3

雇用・就労の促進

障害者が多様な形態で、その人に合った就労ができるよう、就労支援事業を充実します。

また、ところざわ就労支援センターをはじめ、公共職業安定所、関係機関との連携を強化し、雇用の促進及び就労の場の確保に努めます。

計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
グループホーム整備数	人分	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		70	92	99	106	113		

説明：障害者の生活支援の充実度を示す指標です。
現状値は、市内にあるグループホームの平成25年度末現在の整備数です。
目標値は、毎年度7人分の増加をめざすものです。

関連する基本方針 3-4-2

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
ところざわ就労支援センター登録者の就職者数	人	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		358	412	439	466	493		

説明：障害者の雇用・就労の促進に関する取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、ところざわ就労支援センターに登録している障害者の平成25年度末現在の就職者数です。
目標値は、毎年度27人の増加をめざすものです。

関連する基本方針 3-4-3



第5節

社会保障

安心して生活でき、わかりやすい社会保障制度が整っているまち

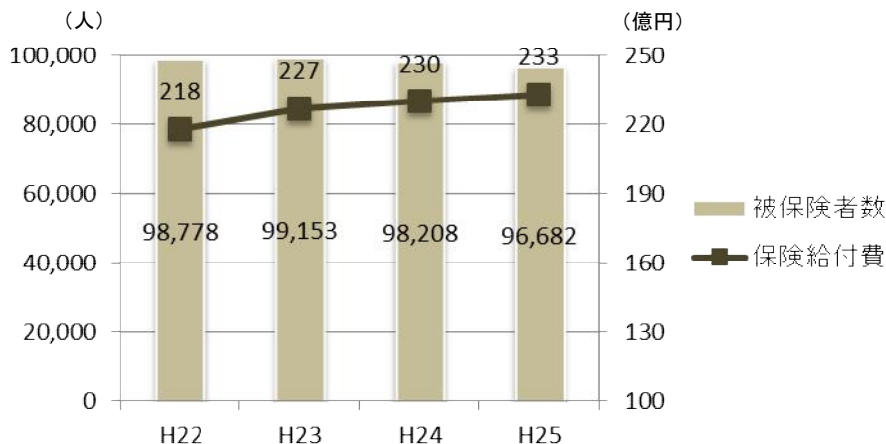
現状・これまでの主な取り組み

- 国民健康保険については、レセプト（診療報酬明細書）点検等により、適正な医療給付の確保に努めています。
- 国民健康保険については、保険者として総合健康診断（人間ドック）検診料の助成、特定健康診査・特定保健指導を実施しています。
- 介護保険については、「第5期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、負担と給付の均衡に配慮する中で、適確な要介護認定と良質で安定した介護サービスの提供に努めています。
- 生活困窮者については、国との一体的な取り組みとして市福祉事務所の窓口にはローワーク機能を設け、生活困窮者等に対する就労支援を行っています。



国民健康保険の被保険者数及び保険給付費の推移

（国民健康保険課資料）



課題

- 国民健康保険や後期高齢者医療制度については、被保険者の資格管理の適正運用、窓口委託による事務の効率化などにより、安定した保険運営を行うことが必要です。
- 国民年金制度に関する啓発を推進することが必要です。
- 介護保険制度については、要介護認定の平準化、介護給付の適正化、保険料の弾力化等の実施により、介護保険財政の健全化を図り、制度の持続性と安定性を確保する必要があります。
- 生活保護世帯や低所得者世帯などの生活困窮世帯に対して、安定した制度の運用と自立の推進が必要です。



基本方針

◆3-5-1

国民健康保険制度の充実

市民の要望や負担に配慮し、国民健康保険制度の適正な運営に努めます。

また、収納率の向上、ジェネリック医薬品の利用促進や特定健康診査等を通じた疾病予防の推進による医療費適正化に取り組みます。

◆3-5-2

高齢者医療制度の充実

高齢者医療制度に関する理解をより深めるため、制度の周知・啓発を進めます。

また、収納率の向上、ジェネリック医薬品の利用促進や健康診査等を通じた予防事業の推進に努めます。

◆3-5-3

国民年金制度の推進

年金制度への理解を高めるため、制度の周知・啓発事業の充実に取り組みます。

◆3-5-4

介護保険制度の充実

介護保険制度の適正で円滑な運営に努めます。

また、介護と医療の連携強化を図り、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めます。

◆3-5-5

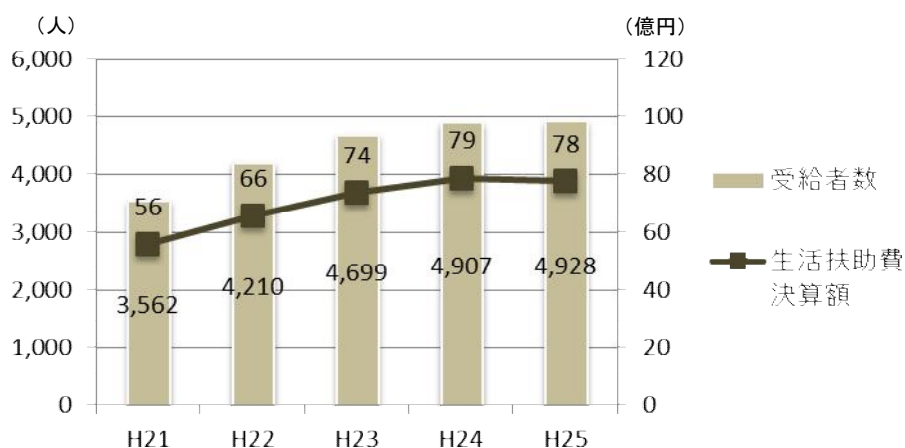
低所得者世帯への支援

生活保護世帯や低所得者世帯などの生活困窮世帯が、安定した生活と自立の助長が図られるよう支援を行います。



生活保護受給者数及び生活保護扶助費決算額の推移

(生活福祉課資料)



📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
ジェネリック医薬品の利用率	%	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		50.5	60.0	65.0	70.0	70.0		

説明：ジェネリック医薬品の利用状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度に国が示した利用率の算出式（※）をもとに算出したものです。
 目標値は、平成29年度までに70%をめざすものです。

※利用率の算出式

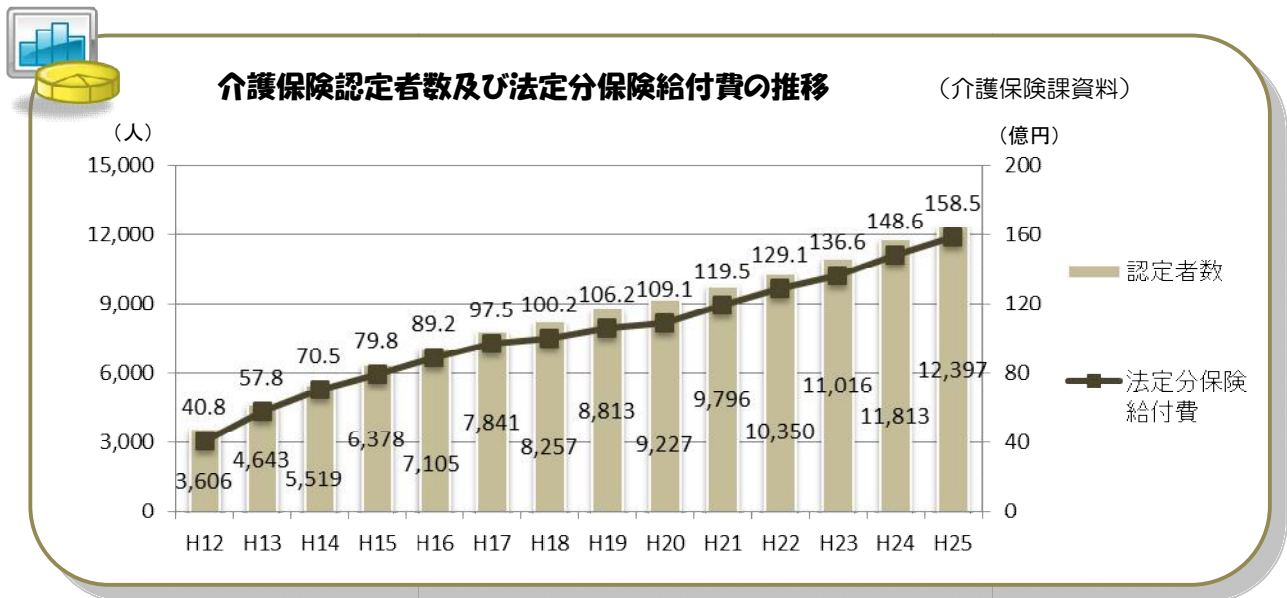
ジェネリック医薬品の利用率＝[後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])
 （厚生労働省「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」より）

関連する基本方針 3-5-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
国民健康保険 特定健康診査の受診率	%	H24	H27	H28	H29	H30	➔	
		39.4	56.0	58.0	60.0	60.0		

説明：疾病予防対策の推進に関する取り組みの成果を測る指標です。
 現状値は、40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者の平成24年度の受診率です。
 目標値は、平成29年度までに60%をめざすものです。

関連する基本方針 3-5-1



教えて！
ところん

ジェネリック医薬品ってなあに？



ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、最初に作られた薬（先発医薬品・新薬）の特許が切れてから、**新薬と同じ有効成分で製造した薬**のことです。

新薬に比べて**開発費を抑えられるため、安価に作る事ができるので薬代が安くなる場合があります。**

飲みなれた薬を替えるのが心配な方は、「お試し調剤」という方法で一週間だけジェネリック医薬品に替えることも可能です。診察時に医師に相談するか、薬局で薬剤師に相談してください。



ジェネリック医薬品希望シール

保険証やお薬手帳などに貼ることで、ジェネリック医薬品利用の意思表示ができます。

教えて！
ところん

どうして、ジェネリック医薬品を勧めるの？



高齢化や医療技術の発展に伴い、必要な医療費は右肩上がりに増え続けています。

市民の皆様が、ジェネリック医薬品に切り替えると、**薬代を節約することができることに加えて、医療費の抑制にもつながります。**

所沢市国民健康保険から支出される医療費は、市民の皆様が納めた大切な国民健康保険税です。医療費を抑え、より有効に活用できるように、「ジェネリック医薬品を利用できますか？」とぜひ相談してみてください。



第6節

保健・医療

心身ともに健康と感じ、
必要なときに必要な医療を受けられるまち

現状・これまでの主な取り組み

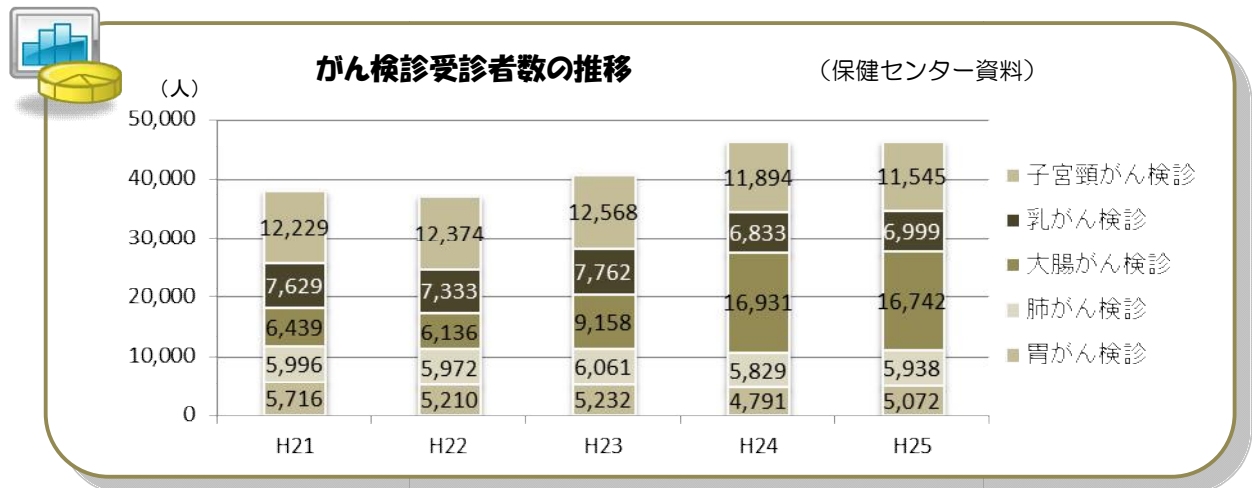
- 「第2次健康日本21所沢市計画」や「所沢市食育推進計画」に基づき、健康づくり、食育に関する施策を実施しています。
- 子どもの健やかな成長を支援するため、乳幼児の発育発達の確認や相談対応などの育児支援の機会となる健診の充実を図っています。
- 市民医療センターでは、日曜日及び祝休日の昼間帯・夜間帯は毎日、深夜帯は木曜日を除く週6日間診療を行うなど、小児初期救急医療体制の充実に努めています。
- 市民医療センターでは、地域連携部門を充実させるとともに、在宅療養支援病院として在宅医療の後方支援を担い、地域完結型医療体制の整備を進めています。



健康まつり(保健センター)

課題

- がん検診については、受診率向上のため、疾病予防や早期発見への意識をさらに高めることが必要です。
- 各ライフステージ※に対応した保健事業のさらなる充実が必要です。
- 市民医療センターでは、小児急患診療を安定的に実施するため、小児科医師の確保が必要です。
- こころの健康づくりや自殺防止については、市民への普及啓発と具体的な施策の推進が必要です。



※ライフステージ…人の一生を乳幼児期、児童・生徒・学生期、青・壮年期、中・高年期、みんなだれでも、に区切ったそれぞれの段階として、健康ところ21で定義。



基本方針

◆3-6-1

地域保健対策の推進

市民の健康づくりを支えるため、地域組織や団体等の育成を図るとともに、関係機関や自治会等との連携・協働により、地域のネットワーク基盤を強化します。

また、市民の心身の健康保持・増進のため、保健活動の促進を図ります。

◆3-6-2

生涯を通じた健康づくりの推進

市民一人ひとりが健康でいきいきした毎日を送れるよう、個々の健康課題に応じた健康の保持・増進、疾病の早期発見・早期治療、社会復帰の支援、感染症予防等の健康危機管理など、生涯を通じた健康づくりを推進します。

◆3-6-3

地域医療・救急医療の充実

市民が安心して暮らすことができる地域の医療環境を保つため、公立病院としての市民医療センターの適正な運営と、市内の地域医療連携及び小児初期救急医療体制の充実を図ります。

また、県及び近隣自治体との連携により、埼玉県西部保健医療圏*における夜間・休日診療をはじめとする救急医療の充実を図ります。

◆3-6-4

こころの健康づくりの支援

精神障害者が地域の中で自立して生活していけるよう、本人や家族からの相談対応や訪問支援、本人や家族同士が支え合い交流を図るためのつどい等を実施するとともに、市民の理解や知識を高めるための周知・啓発活動を進めます。

また、自殺を予防するための啓発活動や情報発信、こころの健康づくりの支援の充実を図ります。

教えて！
トコロん

急病の時に医療機関を受診した方がいいのか迷ったら
どうしたらいいの？



「#8000」または「#7000」をご利用ください！

「#8000」は小児救急電話相談のことで、埼玉県が平成19年6月から実施しています。休日や夜間の子どもの急病時に、家庭での対処方法や受診の必要性について看護師からアドバイスを受けることができます。

※「#8000」受付時間 月曜日～土曜日 19:00～翌朝7:00
日曜日、祝休日、年末年始 7:00～翌朝7:00

「#7000」は大人の救急電話相談で、平成26年10月から同じく埼玉県が実施しています。急病時に医療機関を受診するかどうか迷った時に看護師からアドバイスを受けることができます。

※「#7000」受付時間 18:30～22:30

*埼玉県西部保健医療圏…「埼玉県地域保健医療計画」にて位置づけられた医療圏で、本市をはじめとして、飯能市、狭山市、入間市、日高市から構成される圏域。





計画期間における目標指標

指標名	単位	現状	年度別目標					達成
			H27	H28	H29	H30		
「所沢市保健医療計画」の策定・推進	-	H26	H27	H28	H29	H30		
		策定	策定	推進	推進	推進		

説明：本市の保健・医療施策を推進する上で基本的な指針となる「所沢市保健医療計画」の策定・推進の進捗状況を示す指標です。
平成27年度の策定をめざし、策定後は計画に基づき、関係機関・団体等との連携を図りながら、効率的・効果的に施策を推進していきます。

関連する基本方針 3-6-1、3-6-2、3-6-3、3-6-4

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H27	H28	H29	H30		
大腸がん検診の受診率	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		16.3	17.0	18.0	19.0	20.0		

説明：疾病予防対策の推進に関する取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度に実施した大腸がん検診を受診した人の割合です。
目標値は、平成30年度までに20%をめざすものです。

関連する基本方針 3-6-2

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H27	H28	H29	H30		
他の医療機関等からの紹介入院患者数	人	H25	H27	H28	H29	H30		
		280	367	400	400	400		

説明：市民医療センターと他の医療機関等との連携状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の紹介入院患者数です。
目標値は、平成28年度までに400人をめざすものです。

関連する基本方針 3-6-3

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H27	H28	H29	H30		
こころの健康講座等の参加者数	人	H25	H27	H28	H29	H30		
		2,115	2,300	2,400	2,500	2,600		

説明：精神障害及び精神障害者に対する市民の理解と知識の高まりを示す指標です。
現状値は、平成25年度に実施したこころの健康講座等の参加人数です。
目標値は、平成30年度までに2,600人をめざすものです。

関連する基本方針 3-6-4



保健センターでは
いろいろな事業を行っているよ



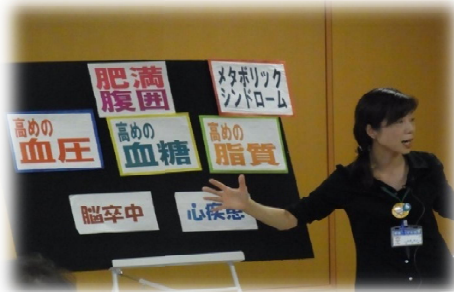
4か月児健康診査



異世代料理教室



胃がん検診



市民健康大学



失語症者のつどい

教えて！
トコロん

子どもは夜間に急患診療を受けられるの？



市域全体で365日全ての時間帯での小児初期救急医療体制を整備しています！

昭和51年9月の市民医療センター開設時から実施してきた日曜日昼間帯の急患診療に加え、平成11年度から夜間帯の急患診療を開始し、平成19年11月には夜間帯の急患診療について365日の実施を達成し、平成22年度からは祝休日昼間帯の急患診療を開始しました。また、深夜帯の急患診療も段階的に実施日を増やしてきました。

これにより、市内病院での小児二次救急実施日及び開業医による土曜日昼間の時間帯を含め、所沢市域全体で365日全ての時間帯での小児初期救急医療体制が整いました。

